

(4) 事業継続資源に対して想定される影響・必要な情報・回復に向けた対応と手順

事業継続資源	災害で想定される影響	復旧方針のために必要な情報と入手先	事業回復に向けた対応と手順
ヒト 人員・従業者			
モノ 建屋（工場） ・設備・原材料			
カネ 資金繰り （収入と支払い）			
取引先や顧客			

(5) 社員の参集ルール

発災翌日以降、事業継続に向けた社員の参集方針や対象職位など

(6) 職場の安定と社員へのケア

家族や自宅被害などで不安を抱えながら働く社員、事業回復に向けて頑張る社員など、災害後の社員のストレスやケアも考えておきましょう。

社員の不安やストレス	具体的な対応

 **激甚被害対策** 自社の建物（社屋）や設備・機械の復旧が見込めない場合、どのように事業回復を図るか考えておきましょう

(7) 代替戦略

激甚災害に被災した場合、事業回復に向けた暫定措置として、代替手段が必要となることもあります。(4) で記入した現況と課題に即して、仮事業所開設といった代替戦略を考えておきましょう。

(4) で表現された事業継続資源とその被害・影響	事業を代替する方法

簡易版

あらかわBCPシート

地震・風水害編

BCP（事業継続計画）は、災害後の企業活動回復に関する「計画」です。企業の災害対策は発災直後の**緊急対応**と、その後の企業活動回復に関する**事業継続対策**の2本立てです。本シートは、安否確認などの緊急対応方策を記入し、その上で、事業継続検討に役立ていただくために作成しました。



被害想定



緊急対応



事業継続対策



激甚被害対策
（代替戦略）

年 月 日 策定・改定

企業名

1. 緊急対応の基本方針

2. 重要業務（商品）

〔 平時 / 発災時の対応責任者 〕

総括責任者 ：

事業継続担当 ：



発行：荒川区
企画・監修：東京都立大学 市古研究室
編集：株式会社 石塚計画デザイン事務所

3. 被害想定



被害想定

首都直下型地震が起きたら
どんな被害が想定されるでしょうか？

〔東京都 2012 年公表〕

東京湾北部 M7.3 (冬 18 時, 風速 8m/s) が発生! (想定)

荒川区では、ほぼ全域で震度6強となり、以下の被害が想定されます

【人的被害】死者 422 人 (0.2%)、重傷者 753 人 (0.4%)、負傷者 3,731 人 (9.3%)

【住家被害】全壊7,217棟(18.0%)、半壊11,488棟(28.7%)、焼失5,521棟(13.7%)

【避難所生活者数】75,726人(36.3%) 【避難者数】116,502人(55.8%)

【自力脱出困難者数】 3,763 人 (1.8%)

【ライフライン】 停電率 48.7%、ガス供給支障率 52.5%

上水道断水率 58.3%、下水道管きょ被害率 30.3%

【復旧目標】 60 日以内に 95% 以上回復する（東京都地域防災計画より）

(※) 各インフラ復旧想定：電力 7 日間、上下水道 30 日、ガス 60 日

職場内の被害イメージ



まちなかの被害イメージ



〔出典〕東京都防災ホームページ『東京防災』より

風水害が起きたら・・・

荒川流域で大雨（想定最大規模：72 時間総雨量 632mm）が発生！

荒川区では、以下の被害が想定されます

【浸水深】区内大部分で浸水深 0.5m 以上，隅田川沿川で浸水深 3.0m～5.0m

【浸水継続時間】2週間以上

荒川洪水浸水想定（国土交通省 2016 年）に基づく「荒川区防災地図（水害版）」/ 令和 2 年 7 月更新



〔出典〕荒川区ホームページより

4. 災害発生時の対応



緊急対応

地震直後に、自分と社員の命を守る対応を考えておきましょう

(1) 地震の揺れが収まった後の行動

地震発生時は、まず自分の身を守りましょう。本震が収まったら、余震に気をつけつつ、出火防止対策などの二次災害防止に取り組みます。

被害確認 負傷者 落下物 社屋被害 敷地周辺被害	・ だれが ・ どこを ・ どのように
社屋外避難 の判断	・ 社屋外の避難先（複数も可） ・ 社屋外避難の判断条件
二次災害 (火災・爆発事故等) 防止	
その他	・ 本震直後の混乱状況の中で、 会社の一員としてなすべきこと

(2) 同僚の安否確認

地震発生時に社員の安否確認を誰が、どんな手段で、どう集約するか、確認しておきましょう。

	勤務中	出勤・退社・在宅・外出時
確認方法 ※複数の手段を準備しましょう	☐ 電話 ☐ メール ☐ SNS 等 ()	☐ 電話 ☐ メール ☐ SNS 等 ()
担 当 ・連絡する人 ・取りまとめる人		
その他		

(3) 帰宅に関するルール

子育てや介護の関係から速やかな帰宅が必要な社員もいます。帰宅に関する条件や優先ルールを話し合っておきましょう。

	帰宅に関する条件とルール	補足事項
勤務中		
外出中		
その他 □		

風水害（台風や大雨等）への備え

台風については、数日前から台風情報が公表されます。気象情報の入手方法、自宅勤務への切り換え条件、被害軽減対策についてまとめておきましょう。

- ・ 気象情報の入手方法

- ・ 自宅勤務への切り換え条件

- ・被害軽減対策